

平成 30 年度 第1学年 技術・家庭科(家庭分野) 年間指導計画・ 評価規準

評価方法 ①授業観察 ②ワークシート ③提出物 ④発言 ⑤定期考査

月	時数	単元(題材)名	評価規準			
			関心・意欲・態度	工夫し創作する力	生活の技能	知識・理解
4	3	家庭分野の学習を始めよう (ガイダンス)	自分の成長や生活は家族やそれに関わる人々に支えられてきたことに気づく。 ①②④			
5	3	衣生活と自立 1衣服の働きを考えよう	衣服の働きに関心を持ち、目的に応じた着用について考えようとしている。 ①②④	衣服と社会生活との関わりを考えながら、目的に応じた着方を工夫する。 ①②③		衣服の社会生活上の働きや目的に応じた着用について理解している。 ②⑤
		2TPOを踏まえた自分らしい着方を工夫しよう。	衣服の働きに関心を持ち、個性を生かした着方について考えようとしている。①②③	衣服と社会生活との関わりを考えながら、個性を生かした着方について工夫している。 ①②⑤		社会生活との関わりを踏まえた上で、個性を生かした着用理解している。 ②⑤
6	4	3衣服の計画的な活用方法を考えよう	自分の衣服計画を立て、衣服の活用方法について考えようとしている①②			衣服の計画的な活用の必要性を理解している。 ②③
		4必要な衣服を選択しよう		目的に応じた既製品の適切な選択について考え、工夫している。 ①②	既製品を選ぶための情報を収集し、整理することができる。 ①②	既製品を選択するポイントについて理解している ②⑤
7	3	5衣服の手入れをしよう	日常着の手入れに関心を持ち、洗濯や補修などの課題に取り組もうとしている。①②③	衣服の材料や状態に応じた洗濯や補修などの手入れについて考え、工夫している。 ①②	繊維や布の状態に合った方法で日常着の手入れをすることができる。 ①②③	手入れの必要性や布の性質、汚れの種類とその特徴について理解している。 ①⑤
		生活を豊かにするために 1生活を豊かにするための工夫をしよう (作品づくり)	作品作りに意欲的に取り組み、自分や家族の生活を便利にしようとしている。①②④	自分らしさを表現したり、使いやすさを追求したりするために色やデザインなどを考え、工夫している。①②③	基礎的なミシン縫いや補修の技能を活用して、安全で能率よく作品を製作できる。 ①②③	製作の手順や縫い方、材料・用具の選択、用具の安全な使い方などを理解している ①③⑤

月	時数	単元(題材)名	評価規準			
			関心・意欲・態度	工夫し創作する力	生活の技能	知識・理解
9	4	生活を豊かにするために 1生活を豊かにするための工夫をしよう	布を用いた作品の製作に関心を持って取り組み、自分や家族の生活を豊かにしようとしている。①②④	布を用いたものの製作の計画を立てるにあたり、安全で能率よく進める方法を考え、工夫している。①②③	基礎的なミシン縫いや補修の技能を活用して、安全で能率よく作品を製作できる。①②③	製作の手順や縫い方、材料・用具の選択、用具の安全で効果的な使い方を理解している。 ①③⑤
10	4	住生活と自立 1住まいの役割と 住まい方を考えよう	住まいに関心を持ち、住まいの役割について考えようとしている、日本の気候風土に合わせた住まいや住まい方の工夫について考えようとしている。 ①②③			住まいの役割や基本的な機能について理解している。 ③②
11	3	2住まいの安全について考えよう	安全に住むための住まい方に関心を持ち、事故防止について考えようとしている。 ①②③	家庭内事故の原因について、考え、防止対策を、工夫している。 ②		家庭内で安全に住むための住空間の条件を理解している。 ②
		3災害に備えた住まい方について考えよう	災害に備えた住まい方について考えようとしている。①②③	住まいにおける災害への安全対策について考え、工夫している。 ②③		災害に備えた住まい方について理解している。 ②⑤
12	3	4健康で快適な室内環境を工夫しよう	健康で心地よい室内環境の整え方について考えようとしている ①③	健康で心地よい室内環境の整え方を考え、工夫している。 ①②③		健康で心地よく住むための室内環境の条件を理解している。 ②③
		5よりよい住生活を 目指して	家族が安全で快適に住むための住まいの工夫について考えようとしている。①②	これまでの学習を生かし、家族が安全で快適に住むための方法について考え工夫している。①②		環境に配慮した住まい方の工夫を理解している。 ①②
		生活の課題と実践	改善する点や課題はないか、自分や家族の住生活を見直そうとしている。 課題に関心を持ち、計画作りや実践に取り組もうとしている。①②③	住生活をよりよくするための課題を見つけ、これからの生活の中に、さらに工夫している。①②③	自分や家族の住生活を見直す事ができる。より豊かな生活にしたりするための工夫を考え、計画を立てて実践することが出来る。 ①②③	学習した知識と技術を活用し、家庭で実践する意義を理解する。①②④

月	時数	単元(題材)名	評価規準			
			関心・意欲・態度	工夫し創作する力	生活の技能	知識・理解
1	3	わたしたちの消費生活と環境 1消費者としての自覚を持つよう 2販売方法と支払い方法についてしろう 3商品の選択と購入について考えよう	自分や家族の消費生活を振り返ろうとしている。①②③ 身近な販売方法と支払い方法に関心を持ち、その利点と問題点考えようとしている。①②③ 商品を選ぶときに重視するポイントについて関心を持ち、考えようとしている。①②		物資・サービスの選択、購入および活用について必要な情報を収集・整理することができる。②	契約について理解している。② 販売方法と支払い方法の種類と特徴について理解している。② 物資・サービスの選択、購入および活用に関する知識を身につけている。②
2	3	4消費者トラブルを解決する方法を知ろう 5消費者の権利と責任について考えよう。	消費生活に関わるトラブルなどを解決する方法を考えたことを通して自分や家族の消費のあり方を改善しようとしている。①②③ 消費者の権利と責任について関心を持ち、消費の在り方を改善しようとしている。①②③			消費者トラブルに関する知識を身につけている。①② 消費者の権利と責任、消費者基本法の趣旨について理解している。②③
3	2	よりよい消費生活を目指して 環境に配慮した消費生活 1生活と環境の関わりについて考えよう 2持続可能な社会を目指そう	これまでの学習を振り返り、よりよい消費生活について考えようとしている。①②③ 環境に配慮した消費生活について関心を持って学習活動に取り組み、よりよい生活を実践しようとしている。①②	環境に配慮した消費生活について実践を通して自分なりに工夫している。②		よりよい消費生活を送れるよう、自分の消費行動を複数の観点から検討することの大切さを理解している。② 消費生活と環境との関わりについて理解し、基礎的・基本的な知識を身に付けている。②

平成 30 年度 第2学年 技術・家庭科(家庭分野) 年間指導計画・ 評価規準

評価方法 ①授業観察 ②ワークシート ③提出物 ④発言 ⑤定期考査

月		単元(題材)名	評価規準			
			関心・意欲・態度	工夫し創作する力	生活の技能	知識・理解
4	5	食生活と栄養	食生活について関心を持ち、食生活をよりよくしようとしている。 ①②			
	5	1 食事の役割について考えよう	自分の食生活に関心を持ち、健康によい食習慣を日常生活で実践しようとしている。 ①②④	自分の食生活を点検し、課題を見つけ、健康によい習慣などについて考え、工夫している。 ①②③		食事の役割や健康によい食習慣の重要性について理解している。 ②⑤
		2 食生活の課題を見つけよう	中学生に必要な栄養の特徴について関心を持ち、自分の食事と関連させて考えようとしている。 ①②③			栄養素の種類と働きについて理解している。 中学生に必要な栄養素の特徴について理解している。 ②⑤
		3 栄養素の種類と働きを知ろう				
		4 中学生に必要な栄養について考えよう				
6	9	献立作りと食品の選択	食品成分表を使い、身近な食品の栄養的な特徴を調べようとしている。 ①②	食品成分表を使い、身近な食品の栄養的な特徴を調べようとしている。 ①②		食品の栄養的特質について理解している。 ②⑤
		1 食品に含まれる栄養素を調べよう				
		2 何をどのくらい食べればよいか考えよう	食品の栄養的特質や中学生の1日に必要な食品の種類と概量に関心を持ち、食品について調べたり、計量したりしようとしている。 ①②④		身近な食品を栄養的な特徴により6つの食品群に分類することができる。 ①②③	食品群や食品群別摂取量の目安について理解している。 ①②④⑤
7	3	3 バランスの良い食事について考えよう	必要な栄養を満たす食事のとり方をしようとしている。 ①②④	中学生の1日分の献立について課題を見つけ、必要な栄養を満たすために料理や食品の組み合わせについて考え、工夫している。 ①②④		中学生の1日に必要な食品の種類と概量について理解している。 中学生に必要な栄養を満たす1日分の献立の立て方について理解している。 ②⑤
		生活を豊かにするために 作品の製作	布を用いた作品を考え製作の計画を立てる。作品に意欲的に取り組む役立てようとしている ①②④	自分らしさを表現したり使いやすさ追求したりするために、色やデザインを工夫している。 ①②③	基礎的なミシン縫いや補修の技能を活用して、安全で能率よく作品を製作できる。 ①②③	製作の手順や縫い方、材料・用具の選択、用具の安全で効果的な使い方などについて理解している ①③⑤

月	時数	単元(題材)名	評価規準			
			関心・意欲・態度	工夫し創作する力	生活の技能	知識・理解
9	3	1生活を豊かにするための工夫をしよう	生活を豊かにしようと意欲的に製作に取り組んでいる。 ①②④	自分らしさを表現したり使いやすさ追求したりするために工夫している。 ①②③	基礎的なミシン縫いや補修の技能を活用して、安全で能率よく作品を製作できる。 ①③ 身近な食品を選択するために必要な情報を収集・整理することができる。 ②	手順や縫い方、材料・用具の選択、用具の安全な使い方などについて理解している。 ①③⑤
		献立作りと食品の選択 4生鮮食品と加工食品の特徴を知ろう 5食品の選択と購入について考えよう 6食品の保存と食中毒の防止について考えよう	調理実習で使用する食品を取り上げ、用途に応じて選択するために必要な情報を収集し関心を持つ。 ①② 安全で衛生的に食品を扱うことに関心を持って取り組んでいる。 ①④	用途に応じた食品の選択について収集・整理した情報を活用して考え工夫している。 ①②		生鮮食品と加工食品の特徴と品質の見分け方について理解している。 ②⑤ 食品の表示の意味について理解している。 ②⑤ 食中毒を防ぐ方法について理解している。 ⑤
10	2	生活の課題と実践	学習したことを生かし、自分や家族の生活に関心を持ち、よりよくするための課題を考えようとしている ①②④	課題の解決のための具体的な計画を、手順に沿って、自分なりに工夫している。 ①②④	実践の成果と課題について、まとめ発表ができる。 ①④	
11	15	調理と食文化 1日常食の調理をしよう	日常食の調理に関心を持ち、調理実習に意欲的に取り組もうとしている。 ①②	日常食の調理について、調理に必要な手順や時間を考えるなど、計画を工夫している ①②	日常食や地域の食材を生かした調理に関する基礎的・基本的な技術を身につけている。 ①②③	調理の目的について理解している。 ②③⑤
12		2肉の調理をしよう	肉の調理に関心を持ち、肉を用いた調理に意欲的に取り組もうとしている。 ①②	肉の種類や部位に適した調理方法を考え、工夫している。 ②④	安全と衛生に留意しながら、適切な火加減で肉料理を作ることができる。 ①②	肉の調理上の性質や調理方法について理解している。 ②⑤
		3魚の調理をしよう 4野菜の調理をしよう	魚の調理に関心を持ち、魚を用いた調理に意欲的に取り組もうとしている。 ①② 野菜の調理に関心を持ち、野菜を用いた調理に意欲的に取り組もうとしている。 ①②	魚の種類や部位に適した調理方法を考え、工夫している。 ②④ 野菜の種類に適した調理方法を考え、工夫している。 ②④	安全と衛生に留意しながら、魚料理を作ることができる。 ①② 安全と衛生に留意し野菜の料理を作ることができる。 ①②	魚の調理上の性質や調理方法について理解している。 ②⑤ 野菜の調理上の性質について、理解している。 ②⑤

月	時数	単元(題材)名	評価規準			
			関心・意欲・態度	工夫し創作する力	生活の技能	知識・理解
1	7	調理と食文化 2 地域の食文化を知ろう				
2		地域の食材と調理	地域でとれる食材について、自分たちの地域以外の食材も調べようとしている。①②			地域の食材を用いることの意義について理解し具体的な食材を挙げながら説明することができる。①②⑤
		地域の食文化	郷土料理や行事食について、自分たちの地域以外の料理も調べようとしている。①④			地域の食文化の意義について理解し、具体的な料理名を挙げながら説明することができる。①④⑤
3	3	3よりよい食生活を目指して				
		食品の安全	食品安全性に関する問題などに関心を持っている。①②			食品の安全性や、食品を適切に扱うことの大切さについて理解している。①②⑤
		食料自給率	日本の食料自給率問題に関心を持っている。①②	自分や家族が食事をする際に、食料自給率を上げるにはどうすればよいかを考え、工夫している。①②		
		目的に合った食品を選ぼう	手づくりの食品と市販品について、比較しようとしている。①②④		目的に合った食品の情報を収集・整理することができる。①②④	
		生活の課題と実践	課題に関心を持ち、計画作りや実践に取り組もうとしている。①②④	食生活をよりよくするための課題の解決を目指して日常食や地域の食材を生かした調理などの計画を工夫している。①②④		学習した知識と技術を活用し家庭で実践することができる。①②④

平成 30 年度 第3学年 技術・家庭科(家庭分野) 年間指導計画・ 評価規準

評価方法 ①授業観察 ②ワークシート ③提出物 ④発言 ⑤定期考査

月	時 数	単元(題材)名	評価規準			
			関心・意欲・態度	工夫し創造する力	生活の技能	知識・理解
4	1	家庭と家族関係 ・家庭や家族の基本的な機能 ・わたしたちと家族 ・家庭と地域のかかり	家庭と家族関係について関心を持って学習活動に取り組み、家庭生活をよりよくしている ①②	家庭と家族関係について課題を見つけ、その解決を目指して工夫している。①②③		家庭や家族の基本的な機能、家庭生活と地域とのかかりについて理解している ①②⑤
5	2	幼児の生活と家族 ・幼い頃を振り返ろう	幼い頃を振り返り、自分の成長や生活は家族やそれにかかわる人々に支えられてきたことに気付いている。 ①②	幼いころのエピソードを工夫してまとめることができる。①②③	幼いころのエピソードをまとめ、成長の道筋がわかる。②③	
6	2	幼児の心身の発達と生活を考えよう ・幼児の心身の発達	幼児の心身の発達の特徴と生活、幼児の成長を支える家族の役割について関心を持っている。 (情緒・ことば社会性)①②	幼児の体と心の発達の関わりを捉えることができる。①②	幼児の体や心の発達についてまとめることができる。①②	幼児の心身の発達と生活の特徴について理解している。 幼児の体や心の発達には個人差があることを理解している。②
7	1	遊びを豊かにする物 幼児の遊び場所 〈実習〉 おもちゃを作ってみよう	幼児の遊びを豊かにする遊び道具と遊び環境について考えようとしている。①②	子どもが育つ環境の改善について、考えることができる。①②	幼児と家族や周囲の人びと、社会の役割をまとめ、発表することができる。①②	⑤ 幼児の発達を支える家族や地域の人、社会の役割を理解している。①③⑤

月	時数	単元(題材)名	評価規準			
			関心・意欲・態度	工夫し創作する力	生活の技能	知識・理解
9	2	〈実習〉 おもちゃを作ってみよう	幼児の発達段階に応じた簡単なおもちゃの製作を通して、幼児に関心を持っている。 ①②④	幼児の心身の発達に応じたおもちゃや遊び方について考え、工夫している。①②③	幼児の生活に役立つものの計画を立てて作ることができる。 ①②③	幼児の生活に役立つものの製作に必要な基礎的知識を身につけている。①③⑤
10	2	幼児と触れ合おう ・幼稚園訪問	・幼児と触れ合う活動を通して、幼児に関心を持ち、安全に配慮しながら積極的に関わろうとしている①②	幼児との遊びを通して幼児の発達に応じた関わり方を工夫し、実践する。①②④	幼児とのふれあいの体験から得たことをレポートにまとめることができる。 ①②③	幼児と適切にかかわるために必要な知識を身につけている①②
11	2	基本的な生活習慣の習得 社会的な生活習慣の習得	幼児の生活習慣がどのように身につくのか考えようとしている。 ①②			基本的・社会的な生活習慣の内容を理解している。 ①⑤
12	1	家族の役割 幼児の生活と遊びを知ろう ・幼児の1日 ・遊びの重要性	幼児の1日の生活を振り返り、幼児にとっての遊びの意義について考えようとしている。 ①②	幼児の成長に適した遊びを工夫し、実践できる。①②	幼児の成長に適した遊びや遊び道具の観察をまとめることができる。①②④	幼児にとっての遊びの意義について、理解している ①⑤

月	時数	単元(題材)名	評価規準			
			関心・意欲・態度	工夫し創作する力	生活の技能	知識・理解
1	1.5	幼児のためのおやつを作ろう	幼児の生活を振り返り食生活をよりよくする方法について関心を持ち、おやつ作りの計画を立てて実践しようとしている。①②	・おやつの実習の中で課題を設定し、おやつ作りの計画を、自分なりに工夫している。①②④	安全に能率よく、作業することができる。 ①②④	調理の要点を理解することができる。②⑤
2	2	子どもにとっての家族を考えよう				
3	1	・子どもと家族 ・家族との信頼関係	・子どもが育つ環境としての家族の役割を考えようとしている。 ・家族や社会の役割の中で自分のあり方を考えようとしている。 ①②	幼児の心身の発達に応じたかかわり方について考え、工夫している。 ①②③④	幼児と家族や周囲の人びとの役割をまとめることができる。 ①②	子どもが育つ環境としての家族の役割を理解している。①⑤